

平成17年度活動報告

(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

1. 平成17年度活動の基本方針

個人の生活や企業活動という身近な生活・地域社会に対して、地球温暖化防止と持続可能な地域社会の構築をめざし、新エネルギーの技術開発、普及活動及び技術支援等、CO₂排出権取引等の温暖化防止メカニズムの研究及び普及促進等の事業を行い、地域社会の経済振興と地球環境保全の推進に寄与することを方針とする。

- その1 地域に根ざした循環型の新エネルギーでCO₂抑制に寄与
- その2 CO₂排出権取引をはじめ、あたらしいメカニズム・システムの開発・普及
- その3 市民、企業等の緑化推進・循環型社会構築等に関わる社会貢献活動の普及・促進

今期は、設立から3年目を迎え、取り扱い事業が大幅に増加し、関係機関等外部協力者の連携をはじめ、普及啓発活動や事業において、臨機に対応を検討しながら、成果を残すことができた。

2. 平成17年度の事業実績

平成17年度は、当初の予定を大きく上回る事業を実施することができたため、活動状況については、実績に基づき整理し直すこととした。

また、事業量の増加に伴い、KRCビル内に専用の事務所を開設し、2名の常勤スタッフを配置したほか、2名のアシスタントを加え、東和田情報ステーションのスタッフとあわせ、有給雇用職員8名（パート勤務含む）の体制となった。

(参考1 会員現況 平成18年4月1日現在)

1.正会員（個人会員）	21名
2.正会員（法人会員）	8社
3.一般会員	2名
4.賛助会員	0名
5.アドバイザー会員	10名
合計	41名（法人会員代表を含めて54名）

(参考2 法人会員について)

- ①法人会員については、その法人に属する5名まで名簿に記載することができます。
- ②法人会員の議決権は1法人あたり、申し込み時に登録した代表者の1票とします。
- ③当NPO法人と業務委託等の契約を行う場合は、登録された会員名を基本とします。したがって、会社等の組織と契約を締結するには、法人会員であることを原則とします。

3. 活動の成果

今年度は、(1) 温暖化防止対策に関する普及・啓発を図る事業、(2) 地球温暖化防止に関する調査・研究事業 (3) 自然エネルギーの導入に関する技術支援・コンサルティング、調査、研究事業、(4) 新エネルギー、省エネルギーに関するビジョン、基本計画、導入ガイドの策定事業、(5) 自然エネルギー・地球温暖化・緑化推進に関する講師派遣・技術者派遣、(6) 環境保全に関する施設・装置の企画・設計・施工・監理に関する事業、(7) 公共施設の維持・管理・運営を行政機関と協働で行う事業、(8) その他本法人の目的を達成するために必要な特定非営利活動事業の 8 事業を行った。

それぞれの内容について、事業ごとに整理する。

(1) 温暖化防止対策に関する普及・啓発を図る事業

展示会や環境フェアなどに参加し、雨水循環利用、県産材利用、自然エネルギー利用などの出展を通じて、地球温暖化防止対策に関する普及啓発活動を行った。

活動内容一覧

実施日時	事業内容	実施場所	摘要
2005/6/3 ～6/4	新技術フェア 2005	長野高専地域共同テクノ センター	
2005/7/9 ～7/10	信州環境フェア 2005	長野市若里多目的 スポーツアリーナ (ビックハット)	参加者 300 人
2005/8/1 ～8/7	雨水東京国際会議 2005	すみだリバーサイド パーク	参加者 600 人
2005/8/20 ～8/31	道路ふれあい月間特別展示	長野国道事務所 東和田情報 ステーション	参加者 900 人
2005/8/31 ～9/2	下水道の日展示	長野県庁ロビー	
2005/9/10	下水道環境展	赤沼浄化センター	

(2) 地球温暖化防止に関する調査・研究事業

○県産材利用プロジェクト

県産材の有効利用のための検討会を、国立長野高専技術振興会「信州まち育て研究会」との協働により開催した。

ここでは、「団塊の世代の家づくり」をテーマに技術研修を行い、その成果をもとにイベント参加による普及啓発に活用し、アンケート調査を行った。

なお、昨年度実施した信州環境住宅は、その後、見学者や問い合わせに対応し、普及啓発に役立てた。

活動内容一覧

実施日時	事業内容	実施場所	概要
2005/6/23	地域材の家づくりによるまち育て	国立長野高専 地域共同テクノセンター	参加者 24 名
2005/7/14	地域材の家づくりによるまち育て 2	国立長野高専 地域共同テクノセンター	参加者 18 名
2005/10/16	信州の木で木造住宅フェア 2005 ～みて・きいて・学んで・信州の木のよさを～	長野県社会福祉総合 センター講堂	参加者 500 人

(3) 自然エネルギーの導入に関する技術支援・コンサルティング、調査、研究事業

○NPO活動促進プロジェクト

地域や自然環境の保全などに取り組むNPO活動を支援するための助成制度に応募し、2件が採択された。この2件は平成18年度事業として予定する。

①申請先：社団法人 北陸建設弘済会

第11回 「北陸地域の活性化」に関する研究助成事業

テーマ：こどもたちの参加型体験学習「長野の森林を後世に引き継ごう」

内容：長野市の小田切地区をフィールドとし、里山の手入れや林産物の生産・調理体験などを行い、そのときの発見や感動などを発信し、森林保全に向けた普及啓発を広めていく。

実施期間：平成18年4月1日～平成19年3月31日

(4回程度のイベントを計画している。)

②申請先：キャッチボールのできる公園づくり推進会(社団法人 日本公園緑地協会内)

キャッチボールのできる公園づくり モデル助成事業

テーマ：キャッチボールができるモデル公園

心は世界に！キャッチボールで広げよう交流の輪

～プロ野球OBとキャッチボール～

内容：城山公園、南長野運動公園、長野運動公園をフィールドとし、多くの子どもたちが、プロ野球OB・地域の高校野球選手(現役、OB)とのキャッチボールを通じて、心のふれあいができることを願う。

実施期間：平成18年～平成20年(3年計画)

(年1回開催し、合計で3回のイベントを計画している。)

(4) 新エネルギー、省エネルギーに関するビジョン、基本計画、導入ガイドの策定事業

長野森林組合から、『長野森林組合地域新エネルギービジョン策定委員』の委嘱依頼（理事長）があり、4回の検討会と2回の先進地視察に出席した。

活動内容一覧

実施日時	事業内容	実施場所	摘要
2005/9/15	第1回検討会	長野市城山公民館 会議室	委員として出席 1名
2005/10/20 ～10/21	第1回研修視察	岩手県葛巻市	委員として出席 1名
2005/11/1 ～11/2	第1回研修視察	山口県山口市	委員として出席 1名
2005/11/8	第2回検討会	鬼無里事業所 会議室	委員として出席 1名
2005/12/6	第3回検討会	長野市城山公民館 会議室	委員として出席 1名
2006/1/17	第4回検討会	J A長野県ビル 11A 会議室	委員として出席 1名

(5) 自然エネルギー・地球温暖化・緑化推進に関する講師派遣・技術者派遣

CO₂バンク推進機構の活動状況について発表を行い、今後の連携と活用を呼びかけた。その際に技術者を派遣した。

活動内容一覧

実施日時	事業内容	実施場所	摘要
2005/10/1	2005年長水教研 「学校と教育を語る集い」	長野県立長野西高校	研究発表 1名
2005/11/5	2005年県教研 「環境・公害と教育」	長野県立松本県ヶ丘高校	研究発表 1名
2005年度	長野県安全性向上検討委員会	国土交通省関東地方整備局 長野国道事務所	委員として出席 1名
2005年度	東御市商工会 「そうだネットワーク」	東御市	アドバイザーとして派遣1名
2005年度	環境調査、管理運営検討補助など	(KRCからの委託業務)	技術者派遣 4名

(6) 環境保全に関する施設・装置の企画・設計・施工・監理に関する事業

①雨水循環利用プロジェクト

昨年度に引き続き、雨水循環利用の普及啓発活動を実施した。今年度中には、雨水利用装置を長野県内3基と岡山県内1基の設置を行った。

②森のエネルギー推進プロジェクト

化石燃料に替わる木質系バイオマスであるペレットと、これを利用するストーブの普及による森と街を資源循環でつなぐことを目指し、長野県林務部（信州の木利用推進課）と協働しながらプロジェクトを立ち上げた。

平成17年11月24日に、長野県の「森のエネルギー推進事業」の認証（17長地林第296-3号）を受け、ペレットストーブ24台の設置を行った。さらに燃料であるペレット291袋（約3t）を代行販売した。

(7) 公共施設の維持・管理・運営を行政と協働で行う事業

①東和田情報ステーションプロジェクト（業務委託）

昨年度に引き続き、今年度も国土交通省関東地方整備局長野国道事務所管内の東和田情報ステーション（長野市東和田 854-1）において、NPOと行政機関との協働事業による施設利活用と管理の業務を受託した。

この業務では、道路環境保全に関する情報提供を行うことなどによる活用の方法を検討し、各種のイベントを実施した。

なお、施設には、4名の研究員スタッフが交替で、1年間の常駐勤務した。

活動内容一覧

実施日時	事業内容	実施場所	概要
2005/4/1 ～3/31	東和田情報ステーション管理及び活用検討業務	長野国道事務所 東和田情報ステーション	施設管理は、スタッフ4名の常駐
2005/8/20	「信州親子ふれあい道の駅スタンプラリー」 「道路ふれあい夏まつり」	長野国道事務所 東和田情報ステーション	参加者 500 名
2005/12/17	「街路樹に親しみ、道路環境について知ろう！」	長野国道事務所 東和田情報ステーション	参加者 22 名
2005/1/13	「街路樹に親しみ、道路環境について知ろう！」	長野国道事務所 東和田情報ステーション	参加者 9 名
2006/2/17	「東和田情報ステーション見学会」	長野国道事務所 東和田情報ステーション	参加者 20 名

②指定管理者プロジェクト

本NPOの事業目的である、「地球温暖化と持続可能な地域社会の構築」を実践するための普及啓発活動が継続的に行える可能性から、本年度から始まった指定管理者制度への参入を検討した。さらに公共施設の利用促進を図り、利用者へのサービス向上を目指すことを織り込んだ企画で、長野市の指定管理者制度に応募し審査の結果、2施設の指定管理者に決定した。なお、長野市清掃センター リサイクルプラザ（リフレッシュプラザ）はCO2バンク推進機構単独で、長野市青少年錬成センターは、共同事業体である信州地域ネットワーク・プロジェクト（代表：信州林業株式会社ほか4社）で受託した。2施設ともに平成18年3月に長野市と管理協定を締結し、4月1日から管理・運営を開始する。

また、長野市青少年錬成センターを拠点としての、小田切地区の地域資源と人的ネットワーク構築に向けた検討会を、国立長野高専技術振興会「信州まち育て研究会」との協働により開催した。

活動内容一覧

実施日時	事業内容	実施場所	概要
2006/2/7	長野市青少年錬成センターにおける地域資源の活用とプログラム検討	国立長野高専 地域共同テクノセンター 2階会議室	参加者 22名
2006/3/1	長野市青少年錬成センターにおける地域資源の活用とプログラム検討、その他利用促進に関する意見交換（2）	国立長野高専 地域共同テクノセンター 2階会議室	参加者 17名

（8）その他本法人の目的を達成するために必要な特定非営利活動事業

○マーケティング調査支援事業

長野県中小企業振興公社の補助金申請が2年連続で採択になり、昨年度の「お手軽ポンプの市場性調査」に引き続き、今年度は、県産材のカラマツで製作された音響装置である「アンビエントサウンドシステム（フォルテコ）」のマーケティング調査支援事業を受託した。

この事業では、「音による癒し」をキーワードに県産材のカラマツの有効利用とのコラボレーションにより、各地で展示・試聴会を行うとともに、市場調査、事業展開の可能性、販売ルートの検討に取り組んだ。

活動内容一覧

実施日時	事業内容	展示会及び設置場所	概要
2005/7/4～ 2/28	マーケティング調査支援事業 (ベンチャー企業等商品化・事業化可能性調査)	東京都内及び 長野県内 合計14ヶ所	参加者 延べ500人